

# 調査のてびき

第3回緑の国勢調査

環境庁自然保護局

# 目 次

はじめに	1
1. 調査に必要なものの確認	2
2. 調査のやり方	2
3. 調査票の記入の仕方	5
4. メッシュコードの調べ方	8
5. 調査票の返送	10
6. 調査結果の公表	10
7. 調査に当たっての注意	10
調査対象動植物の見分け方	
動 物	12
植 物	24

## 自然保護憲章

---

自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう。  
自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしよう。  
美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

---

## はじめに

「緑の国勢調査」にご参加いただきありがとうございます。  
います。

この調査は、あなたから寄せられる「身近な生きもの」についての情報を集成して「生きもの地図」をつくり、私達の身近な自然環境を診断するなどして、快適な生活環境をつくり出す手がかりを得ようとするものです。

調査は、散歩や通勤、自然観察会やハイキングなど折りにふれて見かけた生きものについてお知らせいただくものです。どうぞ気楽にお取り組み下さい。

調査に参加されることにより、身の回りの自然をもう一度見つめ直すきっかけにいただけたらと思います。

この手引書は、調査を進める上で必要な事項について、つとめてどなたにもわかるように平易に書いたつもりです。内容は、調査のやり方と調査対象の生きものの見分け方に分かれています。

調査を始める前にひととおり目を通して下さい。

この調査は、小中学生には内容が少し難しい  
と思われるので保護者や先生の指導を受ける  
ようにして下さい。

## 1. 調査に必要なものの確認

### 全部そろっていますか？

調査の手引書—あなたの読んでいるこの本です。

参加証—あなたの番号が書いてあるカードです。調査票にはこの番号を必ず書いて下さい。

地図—応募葉書に記入していただいた調査(五万分の一メッシュ地形図)地域の五万分の一地形図です。もう一度確かめて下さい。この地図は、約1km四方の区画(1キロメートルメッシュ)に分けられています。

調査票—調査の結果を記録する用紙です。動物用(クリーム色)と植物用(薄緑色)の2種類、それぞれ15枚(表裏30ページ)です。

返送用封筒—調査終了後、調査票とアンケート用紙を送り返していただくものです。

以上のものがそろっていなかったり、調査地域と違った地図が入っている場合はご連絡下さい。

## 2. 調査のやり方

### 調査のポイントは？

調査は、「どこ」で、「どの生きもの」を見つけたかを調査票に記入して、昭和59年12月末までにお送りいただくものです。

- この調査では、「どこ」というのは、地図の区画の番号(メッシュコード)で表します。
- 「どの生きもの」は、70種類の生きものの中から見つけます。

### 緑の国勢調査

「緑の国勢調査」は、自然環境保全法の規定に基づき行うもので、正式には「自然環境保全基礎調査」という。第1回調査は昭和48年度に、第2回調査は昭和53・54年度に実施した。この調査によって、①我が国の自然環境の現状を適確に把握すること、②おおむね5年ごとに実施する調査の積み重ねによって自然の経年変化を把握すること、③自然環境保全のための各種計画の策定、環境アセスメントの実施等に必要となる科学的な基礎資料を提供することが可能になる。

### ボランティア

ボランティア(volunteer)という言葉は、ラテン語のボランティア(自由意志)が語源で、これがフランス語でボランティア(意志)となり、英語のボランティア(志願者)になった。ボランティアは、平等の人間関係のなかで自発的に行われる社会的行為を指すので、日本語の「奉仕」という言葉だけで表現しきれない内容をもっている。わかりやすく定義づけをするなら、「生きて行く喜びを人々と共に分かち合い、よりよい社会をつくっていくために、自ら進んで活動に参加している人」ということになる。

○「いつ」とか「どのくらい」とかは調べる必要はありません。

散歩の途中などで見かけた生きものがどこにいたかメモしたり、地図を見て目的地を決めて出かけて調べたり、魚釣り帰りの子供のバケツの中のをのぞいて釣った場所を聞き取ったり、調査のやり方はいろいろあります。工夫して楽しく調べて下さい。

## 70種類の生きものは？

調査対象の生きものは次のとおりです。

- 動物…(十脚類)ザリガニ、アメリカザリガニ、ヤシガニ、サワガニ
- (昆虫類)ハッチョウトンボ、キリギリス／ハネナガキリギリス、タガメ、ヒグラシ、ミンミンゼミ、オオミノガ、オオムラサキ、ハンミョウ、カブトムシ、ゲンジボタル
- (淡水魚類)ヤマメ、アユ、オイカワ、コイ、フナ、ドジョウ、メダカ、カダヤシ
- (両生類)イモリ／シリケンイモリ、ヒキガエル、ウシガエル、カジカガエル
- (爬虫類)アオダイショウ
- (鳥類)ドバト、キジバト、カッコウ、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、オオヨシキリ、スズメ、ムクドリ、オナガ
- (哺乳類)オオコウモリ類、ノウサギ／ユキウサギ、ニホンリス／エゾリス (40種類)

植物…在来タンポポ、セイヨウタンポポ、アカミタンポポ、ヒメジョオン、ヘラバヒメジョオン、ハルシオン、ヒルガオ・コヒルガオ、セイヨウヒルガオ、アレチマツヨイグサ、オオマツヨイグサ、コマツヨイグサ、センダングサ、タチアワユキセンダングサ、ミミナグサ、オランダミミナグサ、セイタカアワダチソウ、オオブタクサ、アレチウリ、ヤブガラシ、ムラサキカタバミ、キキョウ、オミナエシ、テッポウユリ、ニリンソウ、チゴユリ、カタクリ、ホテイアオイ、エビモ、タヌキモ類、コウホネ類 (30種類)

「キリギリス／ハネナガキリギリス」の場合のような斜線(／)は、斜線左側の動物が分布していない地域では斜線右側の動物が対象となることを示しています。すなわち、北海道では、キリギリス、ノウサギ、ニホンリ

スは生息していないのでハネナガキリギリス、ユキウサギ、エゾリスが対象となり、奄美諸島や沖縄ではイモリのかわりにシリケンイモリが対象となります。「ヒルガオ・コヒルガオ」は両種を区別せずに調査することを示しています。

調査対象の生きものによく似ていてまぎらわしいものがありますので、見分け方をよく読んで下さい。また地方によって、呼び方が違うこともありますので注意して下さい。

この調査では、ペットとして飼われているものや栽培されているものは対象とはしません。

### 調査はいつやるの？

調査の時期や回数は特に決めていません。あなたの自由ですが、場所を変えたり、時間や時期を変えて何回か調べていただいた方が良い結果が出ます。

その結果は、必ず12月末までに送って下さい。

### どれだけのメッシュをやるの？

どれだけやらなければいけないという割当がある訳ではありません。できる範囲で結構です。でも余裕のある方はできるだけ多くのメッシュを調べて下さい。

また、グループで調査する場合は、手分けしてなるべく多くのメッシュを調査していただいた方が、多くの人が1つのメッシュに片寄るよりいい情報が得られます。

### 70種類全部調べるの？

自信のある分野だけでもかまいません。だけど最初からあきらめてしまわないでできるだけ努力してみましよう。

鳥などのように手に取って調べられないものや調

#### “メッシュ”のはなし

地域を縦と横の線で区画する方法で、その線が網の目になっていることからメッシュという。外国ではグリッドとかセルともいう。

メッシュ化によって大量の情報が処理でき解析も容易となるので、人口統計や地図情報にも用いられている。

日本の国土は1キロメートルメッシュにして約40万個。この調査では都市部や農村部など人が活動する地域約12万メッシュが主な対象となる。

べてもはっきりしないものがあると思いますので自信を持って確認できたものだけを知らせて下さい。先生やもの知りの方に確かめてもらうのも一つの方法です。

調査対象である動植物70種類全部が見つかることはありません。

この調査で見つからなかったからといって分布していない証明にはなりません。逆に見つかったものは、分布が証明されたこととなります。ですから、見つからないものやはっきりしないものを「いる」と報告されますと調査そのものが混乱します。大切なことは、確認できたものだけを調査票に記入していただくことです。

### 3. 調査票の記入の仕方

次の記入例に従って記入して下さい。植物の場合を例に示してありますが、動物の場合もこれと同様です。

せっかく調査しても調査票の記入の仕方を誤ると調査がだいなしになってしまいます。何度も確かめて下さい。

参加証番号、調査者名、調査地、メッシュコード(メッシュの番号)は、調査票全部に必ず書いて下さい。

調査票に書き込む時は、1つのメッシュ内で見つけたものは全部1ページに書いて下さい。つまり調査票は1メッシュ当たり1ページです。

〈調査票の記入例〉

「緑の国勢調査」調査票

<b>A</b>		<b>2</b>	<b>植 物</b>
① (ここには何も記入しないでください) ②-③ ④			
調査者名 (グループの場合は代表者名)		参加証番号	
(フリガナ)	ヤマ カワ ミドリ	0 1 3 0 0 2 1	
(氏名)	山 川 みどり	グループ名 環境高校生物部	
調査地			
東京 道 江戸川		市 町 村	
メッシュコード(区画の番号)			
5 3 3 9 4 7 7 1			
⑤-⑥			

(見つけた植物の番号を○印で囲んでください)

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 01 在来タンポポ       | ⑬ セイタカアワダチソウ |
| ⑭ セイヨウタンポポ      | 17 オオブタクサ    |
| 03 アカミタンポポ      | 18 アレチウリ     |
| ⑮ ヒメジョオン        | ⑲ ヤブガラシ      |
| 05 ヘラバヒメジョオン    | ⑳ ムラサキカタバミ   |
| 06 ハルシオン        | 21 キキョウ      |
| 07 ヒルガオ・コヒルガオ   | 22 オミナエシ     |
| (aヒルガオ、bコヒルガオ)  | 23 テッポウユリ    |
| ⑯ セイヨウヒルガオ      | 24 ニリンソウ     |
| 09 アレチマツヨイグサ    | 25 チゴユリ      |
| 10 オオマツヨイグサ     | 26 カタクリ      |
| 11 コマツヨイグサ      | 27 ホテイアオイ    |
| 12 センダングサ       | 28 エビモ       |
| 13 タチアワユキセンダングサ | 29 タヌキモ類     |
| 14 ミミナグサ        | 30 コウホネ類     |
| 15 オランダミミナグサ    |              |



### 調査者名

参加申し込みをした人の名前(グループの場合は代表者の名前)を書く。

### 参加証番号

参加証(カード)の番号を7ケタ全部書く。

### グループ名

申し込みがグループの場合は、グループ名を書く。

### 調査地

都道府県名、市区町村名を書く。

### メッシュコード

調査地の位置が、地図のどのメッシュに入っているかを調べ、そのメッシュの番号(メッシュコード)を書く。メッシュコードの調べ方は、「4.メッシュコードの調べ方」を参照のこと。

### 見つけた植物

見つけた植物の番号を○印で囲む。

植物の07ヒルガオ・コヒルガオ、動物の04サワガニ、19フナについて、より詳しく見分けられる方は( )内のいずれかを見分けて○をつけて下さい。また、在来タンポポ、タヌキモ類、コウホネ類の具体的な種名がわかる場合は、その種類を調査票下部の余白に記入して下さい。

## 4. メッシュコードの調べ方

どこで生きものを見つけたかは、その場所のメッシュコードで記録します。

実際には、地面の上にメッシュの線は引かれていませんし、目印もないので、生きものを見つけた場所がどのメッシュに入るのかは正確にわからない場合があります。そんな場合はあまり難しく考えないで、だいたいどのメッシュに入るかを判断してメッシュコードを調べて下さい。

メッシュコードは、8ケタの数字で表します。

メッシュコードは次のようにして調べます。

- (1) まず地図(五万分の一メッシュ地形図)を広げてみましょう。調査対象動植物を見つけた場所(調査した場所)をその地図でさがし、その場所に印(しるし)をつけて下さい。
- (2) その場所が、地図をたて、よこの太い線で大きく4つに分けたうちのどこに当たるのかを調べ、番号を書きます。番号は、地図の上と下の余白部分に書いてあります。

右図の場合、調査した場所(●印)は、地図を大きく4つに分けたうち右下の部分にあるので、番号は「5132-43」となります。

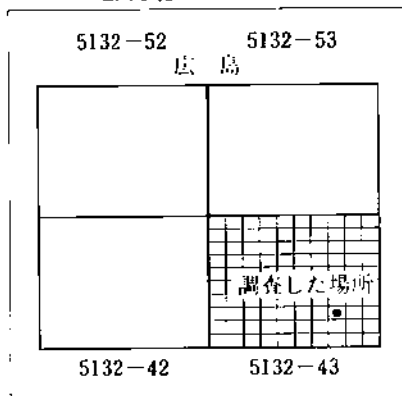
調査票には、次のように書き込んで下さい。

5 1 3 2 - 4 3

### 五万分の一地形図

国土地理院発行の五万分の一の地形図1面は、基本的には緯度10分×経度15分(60分=1度)の範囲を示したもので、日本の国土は1249面の五万分の一地形図に編纂されている。緯度間隔は赤道付近でも極付近でも変わらない。それに対し、経度間隔は両極に向かうにしたがって小さくなるので、両極に近い地域ほど1面に表示される面積は小さくなる。例えば、札幌の1面は鹿児島のもそれより約16%面積が小さい。

### 五万分の一地形図



(3) 残りの2ケタは次のようにして読み取ります。

地図のまわりに書いてある0～9までの小さな数字を見て下さい。

まず、(1)でつけた印の場所からヨコの方向(下図の場合は●印から⇒の方向)に進んで真横(右または左)の数字を読み取ります。下図の場合は「2」です。

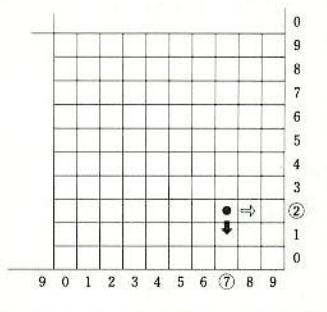
次に印の場所からタテ(下図の場合は●印から⇓の方向)に進んで真下(または真上)の数字を読み取ります。下図の場合は「7」です。

調査票には次のように書き込んで下さい。

5 1 3 2 4 3 2 7

数字を読む順番を間違えないようにして下さい。

順番は (1)ヨコに進んで読んだ数字  
(2)タテに進んで読んだ数字) です。

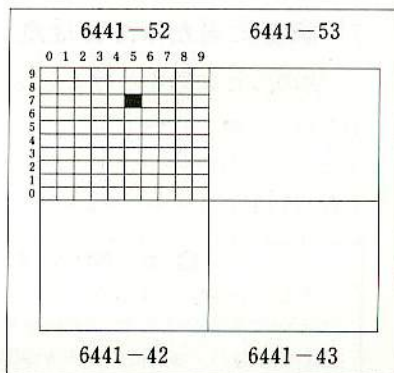


### もう一度練習してみましょう

右図の■のメッシュコードを調べて下さい。

(答は10ページ下にあります。)

いくつものメッシュを調査する人は、あとから見つけた生きものを調査票に追加する時に、いちいちメッシュコードを調べなくてもどの調査票に記入すればよいかすぐわかるように工夫すると便利です。例えば、地図のメッシュに「A」「B」「C」などの記号をつけそれぞれに対応する調査票に同じ記号を記入したり、調査票の余白に「○池付近」「△神社周辺」など自分にわかる目標を書いたり、いろいろ工夫できます。



## 5. 調査票の返送

結果を記録した調査票は、調査が終わったら台紙から1枚ずつはがして返送用封筒に入れ、遅くとも昭和59年12月末までにお送り下さい。

少ししか調査できなくても、大切な情報ですので必ず送るようにして下さい。

調査票つづりの表紙の裏面がアンケート用紙になっていますので、切り取って調査票とともにお送り下さい。

料金の都合で返送用封筒には、アンケート用紙と調査票用紙30枚までしか入れられません。ほかのものを同封して重くなる場合は、ご面倒でも追加の切手をはって下さい。

## 6. 調査結果の公表

皆様から送られてくる調査票を集成して、できるだけ早い機会に「身近な生きもの地図」などを作ります。

調査の結果は、新聞、テレビ、雑誌、報告書などで公表する予定です。

## 7. 調査に当たっての注意

### 次のことに気をつけましょう

- 危険な調査はやめましょう。
- ほかの人に迷惑をかけないように調査しましょう。
- 動物や植物をむやみに採るのはつつしみましょう。

### ❑ お 願 い ❑

あなたが調査中に事故に会ってもお世話することができませんので、けがなどしないよう注意して下さい。また立ち入りが制限されているところなどへは無断で入らないようにして下さい。

### 【答】

6 4 4 1 5 2 7 5

間違った人は「4.メッシュコードの調べ方」を復習して下さい。